

愛知県がんセンター

外来部紹介
(外来診療機能)

作成者：外来部長 堀尾芳嗣

診療科としての外来部

外来部に所属する診療科は
皮膚科 眼科 糖尿病内科 腎臓内科の4科で
部長の堀尾以外に

皮膚科常勤医師
森真弓実先生 以外に

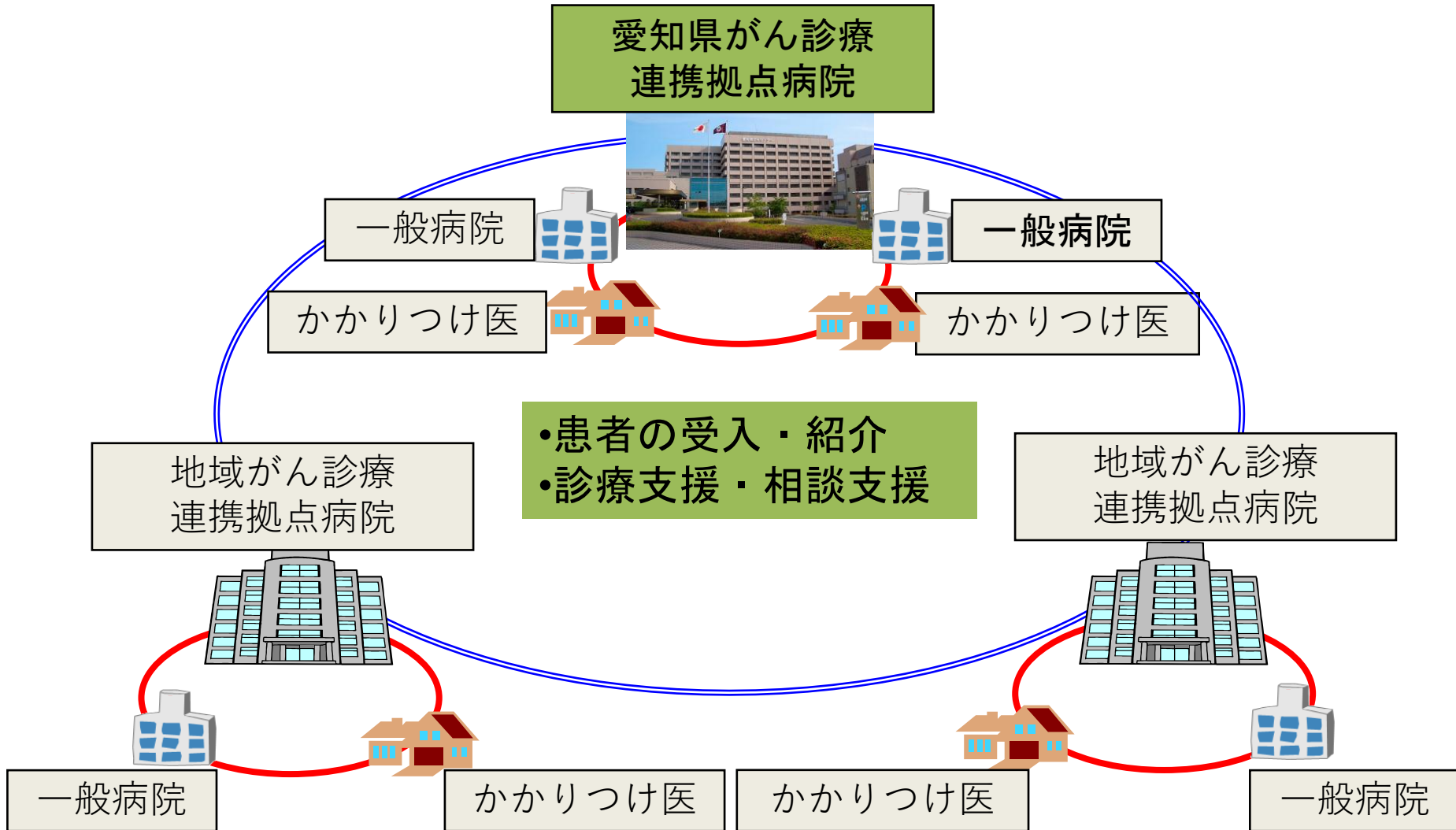
代務医師として横田先生(皮膚科)、立川先生(眼科)、
平野先生(糖尿病内科)、倉沢先生(腎臓内科)
の4名の医師がいます。

外来部の目標

1. 患者さんにとっての外来診療の流れをより快適に
2. 増加する外来検査・外来治療への対応
3. かかりつけ開業医、地域の総合病院や地域がん診療連携拠点病院などとのシームレスな医療連携（退院調整を含む）
4. 外来・入院診療のスムーズな相互移行
5. 外来診療の質の向上
6. がん患者さん/ご家族への相談・支援の強化
7. がん患者さんへの救急対応システムの安定化

外来部の仕事

他医療機関からの引き継ぎと院内各診療科調整



地域がん診療拠点病院と一般病院とかかりつけ医との連携

診察時間(調査より)

診察時間の実際

一人当たりの診察時間の平均値: 約10-12分

一人当たりの診察時間の中央値: 10-15分

愛知県がんセンター

外来診療での要望の高い項目

診察と会計の待ち時間が長い



長年の課題

診察待ちが長い理由

診察当日至急採血の患者割合：6-7割
(外来化学療法患者さんを含む)

診療開始までに

午前の診療では採血待ちと結果待ちが発生

採血結果が一気にでても診察は一人ずつしか
進まない

外来診察の待ち時間対策

医師サイド

一人にかかる診察時間を知り、予約患者数を上手に配分する

患者サイド

午後枠のある診療科では午後枠の予約と取る

採血検査、画像検査を前日等に受けておく(前々日にかかりつけ医で採血)

新型コロナウイルス感染症で 導入している外来機能

1. 電話診療：病状安定の患者さんのみ
2020年春より導入
2. オンライン・セカンドオピニオンの導入
2021年より導入

外来診療でのご意見ご要望は

1. ご意見箱(入院受付、病棟及び外来棟など16か所に配置)に、相談等の内容を記載して投函していただければ幸いです。
2. 地域医療連携・相談支援センターでの申し出もあります。

診療での患者支援システム

1. 地域医療連携・相談支援センターの活用
2. 看護外来の活用(各診療科受付に申し出て下さい)
3. 当院ホームページの各種相談の活用

がん患者サロン

患者さん、ご家族が交流できる場を提供しています。

場所：地域医療連携・相談支援センター前。

日時：毎月第1・3火曜日

ミニ講習会『サロンdeセミナー』は13時30分～14時

新型コロナウイルス感染予防のため、セミナー後の
交流会はしばらく開催を見合わせ

事前予約：不要 開催日に気軽にお越しください。

参加費：無料

包括的な健康管理に向けて

当院で、がん診療を受けても、トータルな健康管理は不可欠です。

そのためには地元総合病院やかかりつけ医やかかりつけ薬局との連携は重要です。

地元総合病院との連携

1. 併存疾患の中で、循環器疾患や神経疾患においては、地元の総合病院との連携が特に重要です。
2. 快適な日常生活を送るためには、相互の情報共有ができるように致します。次回診察日等の情報提供も診察室でお伝え下さい。

かかりつけ医/薬局との連携

1. 病院の役割分担が進んでいます。かかりつけ医との連携も重要です。
2. 是非、お近くのかかりつけ医と連携できるようにしたいと考えます。診療情報提供書等の作成も行いますので、申し出て下さい。
3. お薬手帳は重要な情報です。医療機関受診の際は忘れないようお願いします。

予約変更

052-764-2911への直通電話で
再診等予約の変更が可能。

電話受付時間：平日午前9時から午後5時まで)



患者さんにとって快適な外来診療

すぐに解決できないかもしれませんが、皆様からのご意見で少しでも改善できればと思っています。

今後ともご指導の程、宜しくお願い申し上げます。